幻想の明治 第5話

金次郎蘇生

高信太郎

新入りかい

へッへッへッ さいでござんす
ひとつよろしくお願いいたしやす
ケッ調子のいい野郎だぜ

名はなんてんだ
へッへッへッ

湯島天神下同朋町の
金次郎てもうしやす

なにっ金次郎だと!?
エ

〽やらべ なやない おととをせやし〜
古いなァ〜もう
あんた平田さん

ボカッ

で
いってェ何をやらかしたんでェ
へイ

ここここここ

このやろう!
ボカッ
マ

いってェ
何をやらかしたって
聞いてんだよ！
で
ですから
今

親分
なにっ
口の
御不自由な
人の売り
だと！
そうそう

おし売りか
さらで

しかし
それで十年は
長えなァ…
いえ
別にこれも
やりましたんで
ゆすり

ぐらぐら

ぐら
ぐら
ぐら

こ牛が悪かったの
へェ 材木が倒れまして 一人死にまして 業務上過失致死だと

けっ 変な野郎だぜ
どうもスイマセン

そして 明治五年 一月二十八日 早朝

おっ お役人！ 大変だ きてくれ！

フム 朝起きてみたら死んでたっていうか
へイ
昨日までは元気でござんしたが‥

死んだ者を
泊めおくことはならん
親族のものに
ひきとらせい

けっ
冗談じゃねェ
あんなところに
十年もいれるかってんだ
まったく

おう
急いでやっちくんねェ
らっしゃい!
三途の河

お客さん この渡しは 地獄行き ですぜ
知ってる

なに悪いこと やったんですっ？ 淫波女で

聞きてえか

おし売りですか
知ってやがる

しかし それで 地獄行きとは
もひとつ やったんだ 見せよう

わ〜 お客さん ゆすっちゃ ダメだ 舟が 舟が

ドボーン
おっかあ
ただいま
おかえりよ
お前さん
ほんとに
いい特技を
おもちだね